

みずほCustomer Desk Report 2024/01/12 号 (As of 2024/01/11)

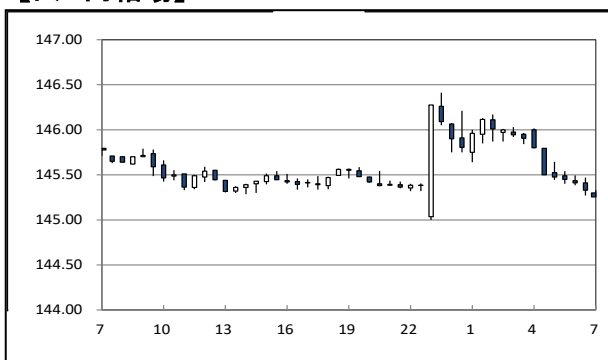
金融市場部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】				公示仲値	145.63
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	145.74	1.0975	159.90	1.2745	0.6703
SYD-NY High	146.41	1.1000	160.18	1.2788	0.6731
SYD-NY Low	145.00	1.0930	159.39	1.2691	0.6648
NY 5:00 PM	145.26	1.0973	159.39	1.2761	0.6688
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	37,711.02	15.29	日本2年債	0.0100%	▲0.0100%
NASDAQ	14,970.19	0.53	日本10年債	0.6000%	0.0200%
S&P	4,780.24	▲ 3.21	米国2年債	4.2472%	▲0.1108%
日経平均	35,049.86	608.14	米国5年債	3.8859%	▲0.0867%
TOPIX	2,482.87	38.39	米国10年債	3.9744%	▲0.0549%
シカゴ日経先物	35,260.00	360.00	独10年債	2.2065%	▲0.0050%
ロンドンFT	7,576.59	▲ 75.17	英10年債	3.8405%	0.0230%
DAX	16,547.03	▲ 142.78	豪10年債	4.1390%	0.0220%
ハンセン指数	16,302.04	204.76	USDJPY 1M Vol	9.52%	▲0.67%
上海総合	2,886.65	8.95	USDJPY 3M Vol	9.49%	▲0.34%
NY金	2,019.20	▲ 8.60	USDJPY 6M Vol	9.51%	▲0.21%
WTI	72.02	0.65	USDJPY 1M 25RR	▲1.06%	Yen Call Over
CRB指数	264.10	1.78	EURJPY 3M Vol	9.19%	▲0.29%
ドルインデックス	102.29	▲ 0.07	EURJPY 6M Vol	9.30%	▲0.33%

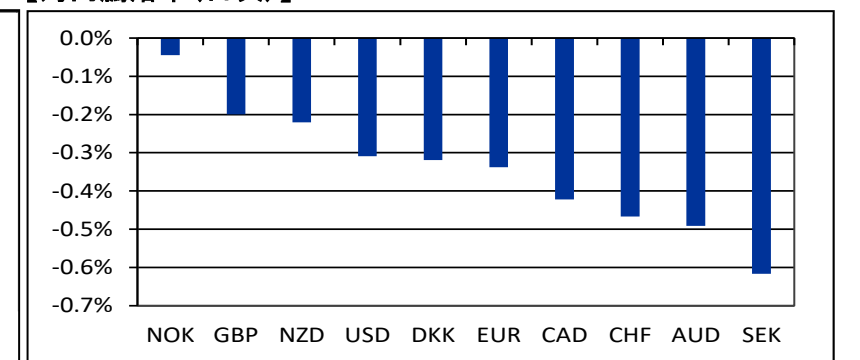
東京	東京時間のドル円は145.74レベルでオープン。朝方から昼頃にかけては日経平均が堅調に推移する中で円も買われ、小幅に円高推移した。14時発表の日銀支店長会議・さくらレポートでは賃金・物価に関して特筆して良い評価は見られず、為替市場への影響は限定的であった。結局145.45レベルでクローズ。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、145.45レベルでオープン。特段の新規材料がない中で、午後に米12月CPIの発表を控えて小動きに終始。約25銭のレンジで取引され145.39レベルでNYに渡った。欧州株はアジア時間の動きを受けて高く寄り付くも徐々に値を消し、こちらも様子見ムードだった。
ニューヨーク	海外市場のドル円は145円台後半でスタート。クロス円の下落と共に、ドル円も軟調な展開となり145.30付近まで下落。その後は米CPIの結果発表を控え、ポジション調整の動きに伴った145.40近辺での推移が続き、145.39レベルでNYオープン。朝方に発表された米12月CPIヘッドライン(前月比)が予想を上回った事や、米新規失業保険申請件数と失業保険継続受給者数が予想より良好だった事を受け、ドル買いが優勢となり、146.41まで上伸。買い一巡後は、コアCPI(前年比)が前回より低下している事が考慮されてか、米金利は低下し、ドル円も146円丁度付近まで下落。午後はマスター・クリーブランド連銀総裁が「3月は利下げ時期として恐らく早過ぎる」と発言するも、影響は限定的。その後、米金利が一段と低下する動きが重しとなり、朝方の上昇分を無くし、145.26レベルまで反落し、そのままクローズ。一方、海外市場のユーロドルは1.09台後半でスタート。米CPI結果待ち姿勢から、1.0970付近での狭いレンジ推移が続き、1.0984レベルでNYオープン。朝方は予想以上の伸びとなった米CPIの結果を受け、ドル買い地合の中、1.0930まで下落。その後も1.0950付近を中心とした値動きが続く。午後は米金利低下を横目に1.0983まで戻す。しかし、続いてラガルド総裁の「データでインフレの軌道確認できれば利下げ開始は可能」との発言が伝わると、独金利低下と共に反落し、1.0973レベルでクローズ。

【昨日の指標等】						
Date	Time		Event		結果	予想
1月11日	22:30	米	CPI(前月比/前年比)	12月	0.3%/3.4%	0.2%/3.2%
	22:30	米	コアCPI(前月比/前年比)	12月	0.3%/3.9%	0.3%/3.8%
	22:30	米	新規失業保険申請件数	6-Jan	202k	210k
	22:30	米	失業保険継続受給者数	6-Jan	1834K	1870K
1月12日	04:35	欧	ラガルドECB総裁発言	物価上昇圧力の鈍化確認できれば利下げ可能		
【本日の予定】						
Date	Time		Event		予想	前回
1月12日	10:30	中	CPI(前年比)	12月	-0.4%	-0.5%
	10:30	中	PPI(前年比)	12月	-2.6%	-3.0%
	16:00	英	鉱工業生産(前月比/前年比)	11月	0.3%/0.7%	-0.8%/0.4%
	16:00	英	製造業生産(前月比/前年比)	11月	0.3%/1.7%	-1.1%/0.8%
	22:30	米	PPI(前月比/前年比)	12月	0.1%/1.3%	0.0%/0.9%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	144.80-145.80	1.0920-1.1020	159.00-160.50

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は米12月CPIがヘッドライン・コアともに前年比で市場予想を上回る強めの結果となったことを受けて、一時146.40レベルまで強含む場面も見られたが、すぐに米長期金利がCPI発表前の水準まで低下したことでドル円も145円台へ反落。その後もドル円は上値重く推移し、結局145.26でのクローズとなった。
 本日のドル円は注目の米CPIを通過したことや、来週月曜が米国祝日であることから方向感に乏しい値動きとなりそう、145円台前半を中心とする揉み合いとなるのではないかと予想される。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 林・松木